



令和3年10月19日

第74回「都民の消防官」表彰について

「都民の消防官」表彰は、産経新聞社の主催により消防の第一線で活躍している職員を対象に、都民の生命、身体、財産を火災等から守るため、長年にわたり職務に精励し、その功労が特に顕著な消防官を選出し、「都民の信頼と感謝を集める人」として広く都民に紹介するため昭和30年に制定されたもので、これまで341人が受章しています。

1 受章者（詳細は別紙のとおり）

(1) 消防活動功労

成城消防署 消防司令補 きどころ 城所 ただし 正

(2) 救急活動功労

青梅消防署 消防司令補 なかざと 中里 ひろゆき 浩之

(3) 予防業務功労

渋谷消防署 消防司令補 おくだ 奥田 さだみ 完巳

(4) 機関運用功労

尾久消防署 消防士長 みかみ 三上 ゆうじ 雄慈

(5) 航空業務功労

装備部航空隊 消防司令補 おおやま 大山 しのぶ 忍

2 表彰式

(1) 日時

令和3年10月25日（月） 10時20分から（予定）

(2) 場所

千代田区大手町一丁目7番2号

東京サンケイビル内 大手町サンケイプラザ 3階会議室

(3) 主催：産経新聞社

後援：フジサンケイグループ

協賛：三菱地所株式会社、東京ガス株式会社、株式会社サンケイビル

富国生命保険相互会社、株式会社リコルディ、一般財団法人東京都消防懇話会

公益財団法人東京連合防火協会、公益財団法人東京防災救急協会

3 その他

(1) 取材の際は自社腕章を着用し、係員の指示に従ってください。

(2) 駐車場はありませんので、あらかじめご了承ください。

(3) マスク着用及び手指消毒などの感染防止対策にご協力をお願いします。

問合せ先

（東京消防庁 電話 3212-2111
広報課報道係 2345～2349）

【消防活動功労】

成城消防署 消防司令補 城所 正 (きどころ ただし)

昭和60年4月消防士として拝命以来、都民の負託に応えるため、消防活動に対する高度な知識技術及び強靱な体力の醸成に日夜尽力しているものである。特別救助隊を中心に警防業務に長年従事し、数多くの業績を挙げている。

性格は、責任感が強く常に真摯な態度で職務に当たり、上司、同僚、部下からも全幅の信頼を寄せられる人格者である。



【救急活動功労】

青梅消防署 消防司令補 中里 浩之 (なかざと ひろゆき)

昭和59年4月に入庁し、ポンプ隊員及び特別救助隊員として数々の災害活動に従事する中で命の尊さを感じ、平成9年12月から救急業務に従事し、高度な知識・技術の向上に努め、迅速的確な救急処置により、数多くの功績を挙げているものである。

性格は明朗快活で、人望を集め、上司、同僚はもとより部下からも信望が厚い人格者であり、若手職員の育成における貢献も顕著である。



【予防業務功労】

渋谷消防署 消防司令補 奥田 完巳 (おくだ さだみ)

昭和59年4月の入庁以来、予防行政需要の高い消防署において予防業務に長年従事し、培った経験、高度な知識及び技術を発揮し、都民の生命、財産を守るために尽力しているものである。

性格は明るく好奇心旺盛で、献身的かつ真摯であることから、上司、同僚のみならず部下からの信頼も大変厚い人物であるとともに、常に都民の視点に立った安全・安心の実現を信条としている。



【機関運用功労】

尾久消防署 消防士長 三上 雄慈 (みかみ ゆうじ)

昭和57年2月入庁以来、長年にわたり機関員として消防車両の運行に従事し、不断の努力により地理水利状況等に精通し、都民の安心、安全を守るため、機関員としての誇りと自信を持った職員である。

他の職員から絶大な信頼が寄せられている一方で、家族とのコミュニケーションを大切にし、その家族愛を原動力として、職務に意欲的に取り組んでいる職員である。



【航空業務功労】

装備部航空隊 消防司令補 大山 忍 (おおやま しのぶ)

平成4年10月入庁後、平成5年10月に装備部航空隊に配置以降、回転翼航空機の操縦士として航空消防活動一筋に都民の生命、身体、財産を守り、都民の負託に応えている。

性格は、温厚で責任感が強く機転が利き、航空消防活動に対する熱い情熱と強い信念を持ち、航空隊の職務遂行に大きく寄与し、上司はもとより同僚、部下職員から全幅の信頼を寄せられている人物である。

